

2 就労状況

(1) 現在までの各時期の夫婦の就労状況

問4 あなた方ご夫婦のいろいろな時期のお仕事についておたずねします。下のa~hの各時期におけるご夫婦双方の①おつとめの状況、②職種、③おつとめ先の従業員数、④片道の通勤時間について回答欄のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

①就労状況

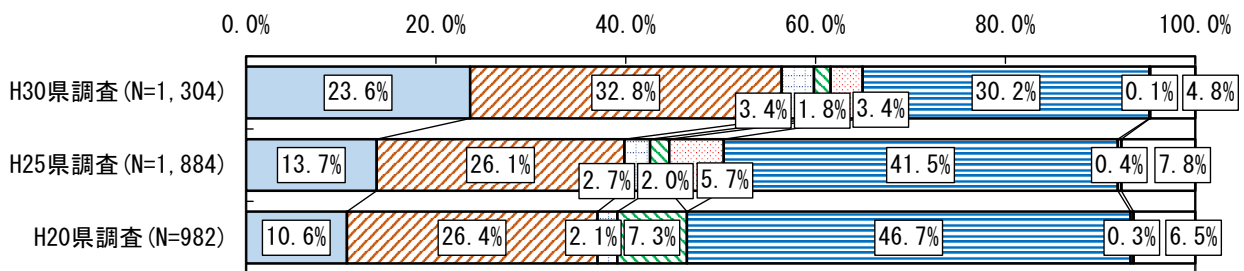
現在就労している妻の割合は 65.0%、無職（学生含む）の妻の割合は 30.2%となっている。就労している妻のうち、「パート・アルバイト」の割合が 32.8%で最も多く、「派遣・嘱託・契約社員」の割合（3.4%）と合わせた非正規雇用職員は 36.2%、「正規職員」は 23.6%となっている。

前回調査に比べて、「正規職員」の割合が 9.9ポイント上昇しているが、「パート・アルバイト」の割合も 6.7ポイント上昇しているため、非正規雇用職員の割合が 7.4ポイント上昇している。

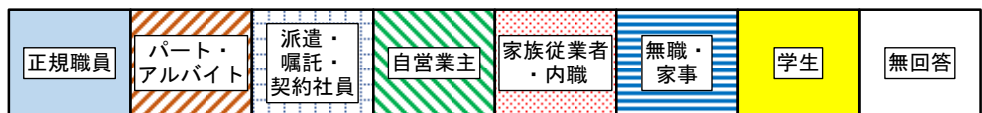
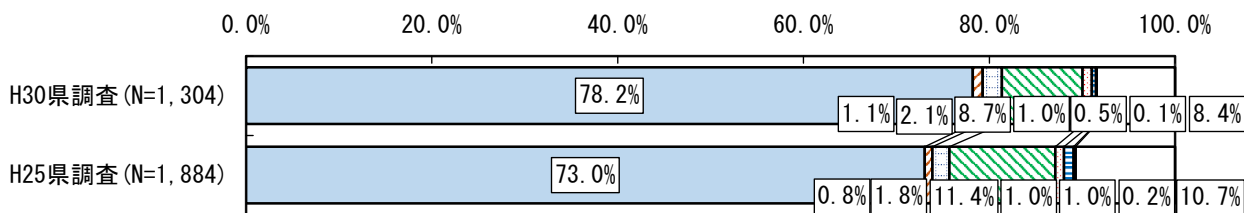
現在就労している夫の割合は 91.1%で、「正規職員」が 78.2%となっている。「パート・アルバイト」及び「派遣・嘱託・契約社員」を合わせた非正規雇用職員は 3.2%となっている。

前回調査に比べて、「正規職員」の割合が 5.2ポイント上昇し、「自営業主」の割合が 2.7ポイント低下している。非正規雇用職員の割合には大きな変化はない。

図表 現在の就労状況（妻）



図表 現在の就労状況（夫）

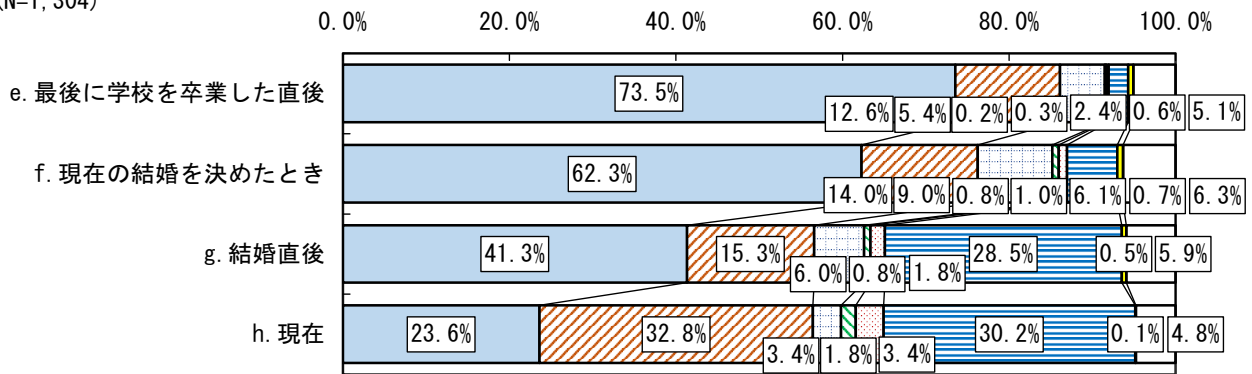


【時期別】

時期別の就労状況は、妻の場合、「正規職員」は最後に学校を卒業した直後が73.5%で最も高いが、現在に近づくにつれ割合が低くなっている。夫の場合、「正規職員」は現在の結婚を決めたときが79.4%で最も高いが、その後の変化は少ない。

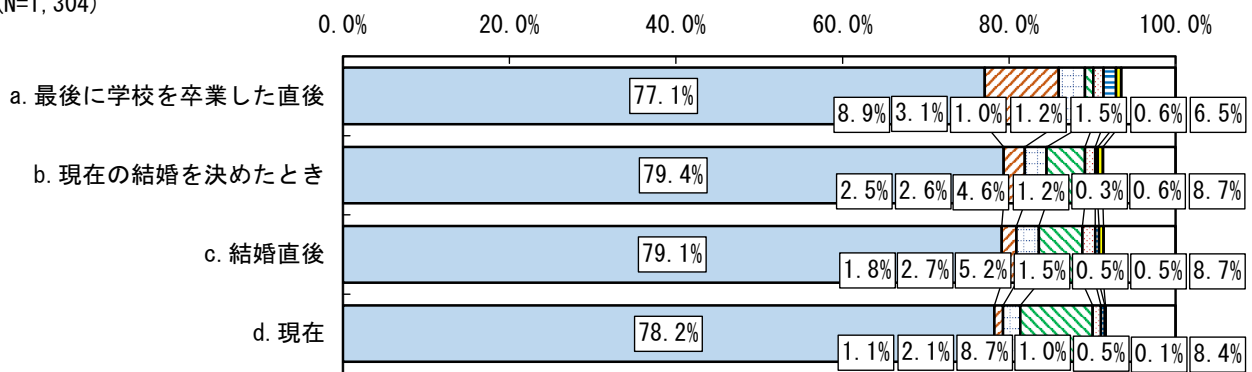
図表 時期別・就労状況（妻）

(N=1,304)



図表 時期別・就労状況（夫）

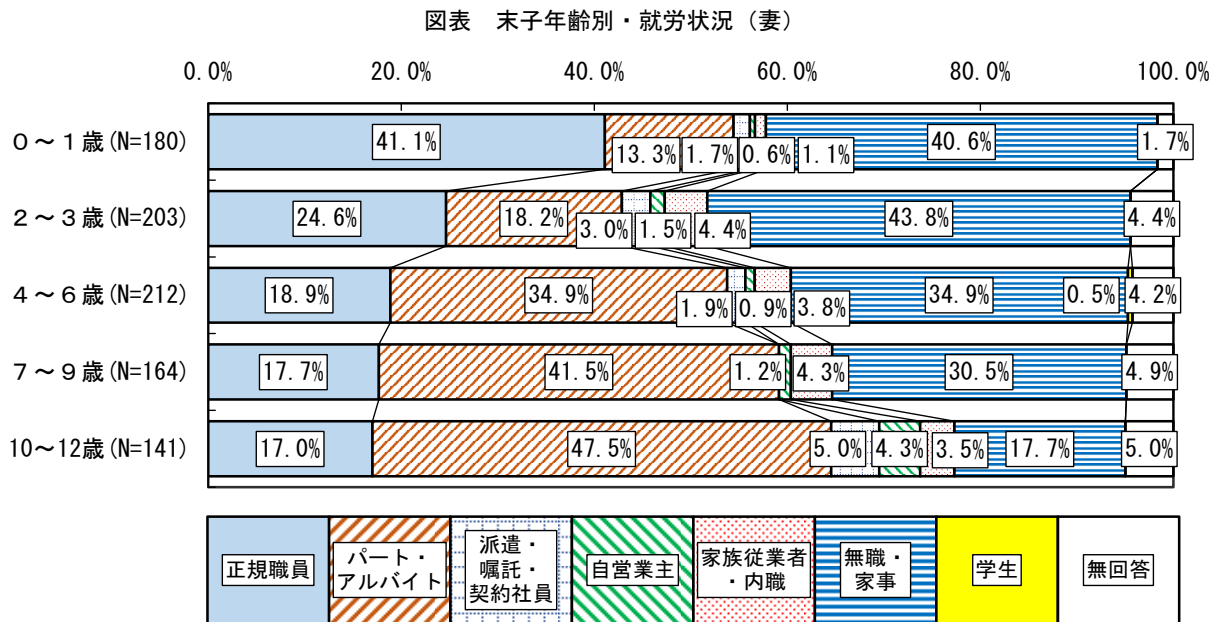
(N=1,304)



【末子年齢別】

末子の年齢別に子どものいる妻の就労状況をみると、「無職・家事」の割合は末子の年齢が上がるにつれ低くなっていき、就労している割合が高くなるが、その就労形態は「パート・アルバイト」が多くなっていく。

就労している妻のうち、「正規職員」の割合は末子の年齢が0～1歳の母親が41.1%と最も高く、すべての末子の年齢において、50%以上の妻が何らかの仕事についており、10～12歳では、8割近くの妻が働いている。

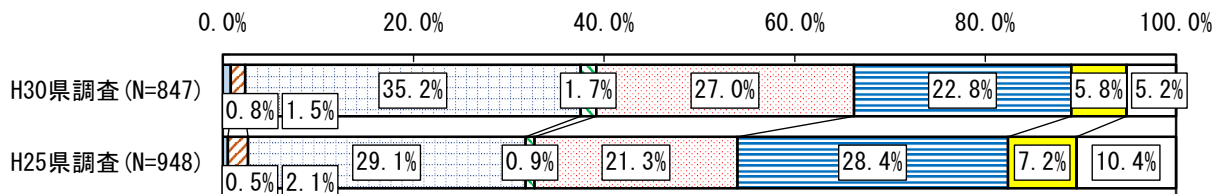


②職種

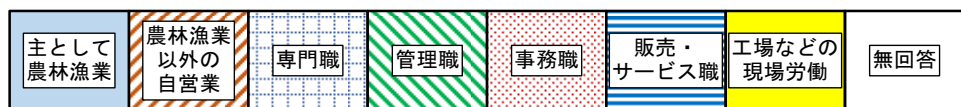
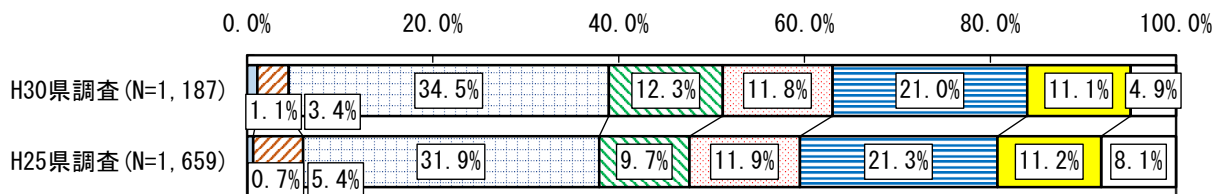
現在の職種をみると、妻では「専門職」が 35.2%で最も多く、次いで「事務職」(27.0%)、「販売・サービス職」(22.8%)となっている。前回調査に比べて、「専門職」「事務職」の割合がそれぞれ5ポイント以上上昇し、「販売・サービス職」の割合が5ポイント以上低下している。

夫では「専門職」が 34.5%で最も多く、次いで「販売・サービス職」(21.0%)、「管理職」(12.3%)となっている。前回調査に比べて、各職種の割合に大きな変化はない。

図表 職種（妻）



図表 職種（夫）

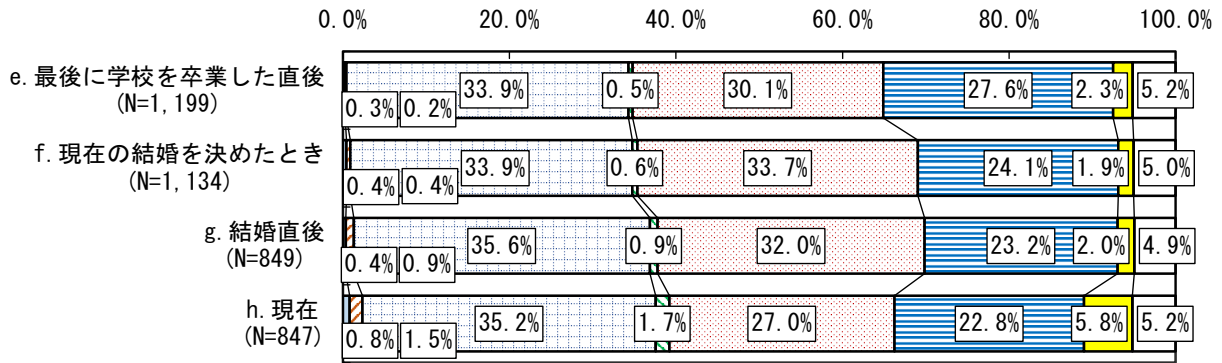


【時期別】

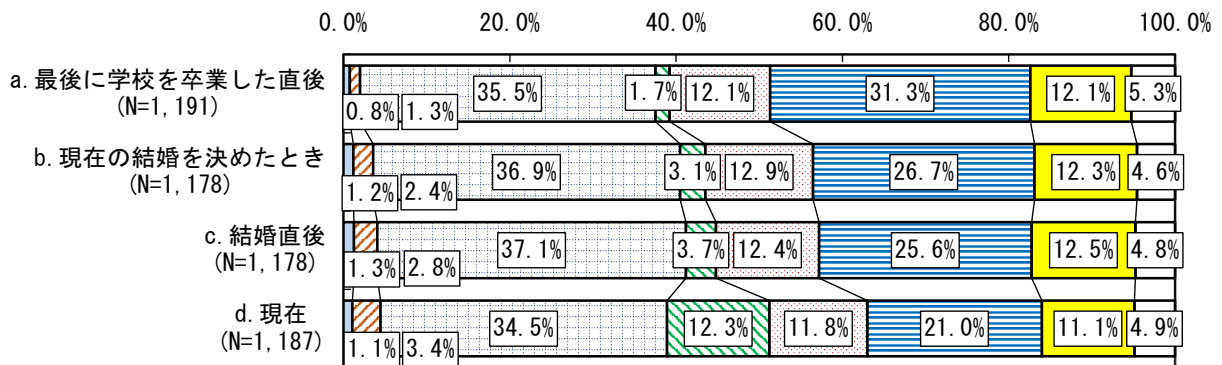
時期別に、職種をみると、妻の場合、最後に学校を卒業した直後から現在までの間にかけて、大きな変動はない。

夫の場合、「販売・サービス職」の割合は最後に学校を卒業した直後から現在までの間に約10ポイント低下しているが、「管理職」の割合は約10ポイント上昇している。

図表 時期別 職種（妻）



図表 時期別 職種（夫）

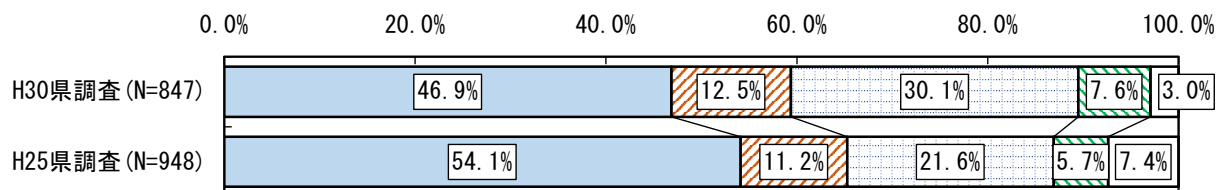


③勤め先の従業員数

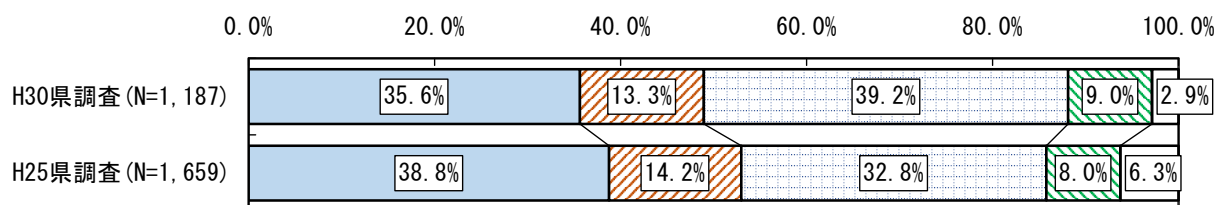
勤め先の従業員数をみると、妻では「1～99人」が46.9%で最も多く、次いで「300人以上」(30.1%)、「100～299人」(12.5%)となっている。前回調査に比べて、「300人以上」の割合が8.5ポイント上昇し、「1～99人」の割合が7.2ポイント低下している。

夫では「300人以上」が39.2%で最も多く、次いで「1～99人」(35.6%)、「100～299人」(13.3%)となっている。前回調査に比べて、「300人以上」の割合が6.4ポイント上昇し、「1～99人」の割合が3.2ポイント低下している。

図表 勤め先の従業員数（妻）



図表 勤め先の従業員数（夫）

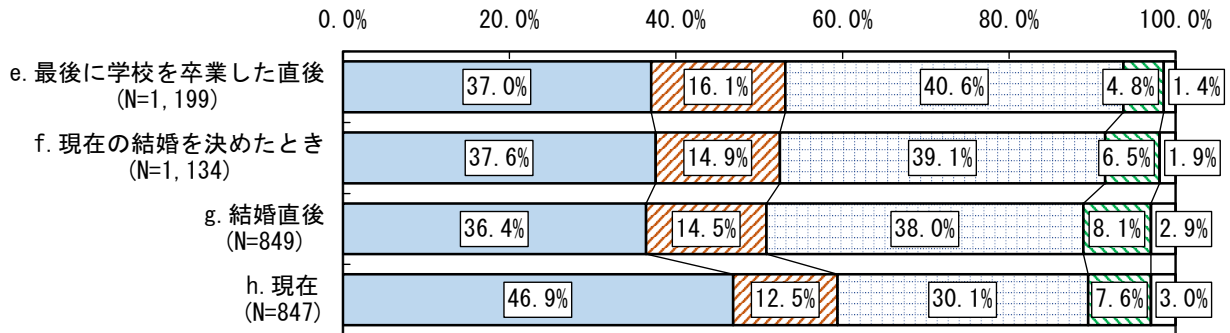


【時期別】

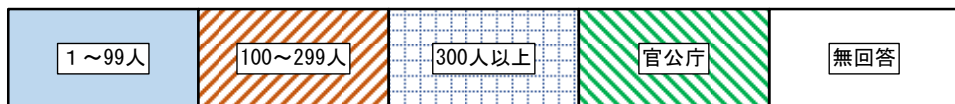
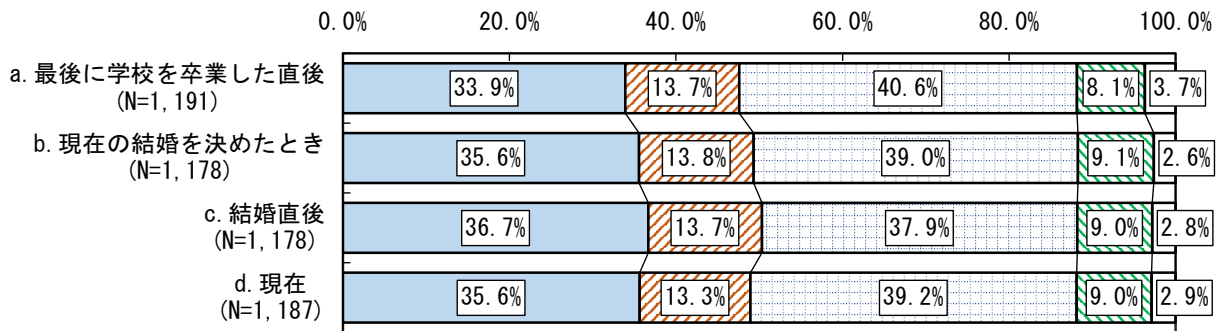
時期別に、勤め先の従業員数をみると、妻の場合、最後に学校を卒業した直後から現在までの間にかけて、「1～99人」の割合が9.9ポイント上昇し、一方で「300人以上」の割合が10.5ポイント低下している。

夫の場合、各職種の割合は全体として微増減であり、大きな変化はない。

図表 時期別 勤め先の従業員数（妻）



図表 時期別 勤め先の従業員数（夫）

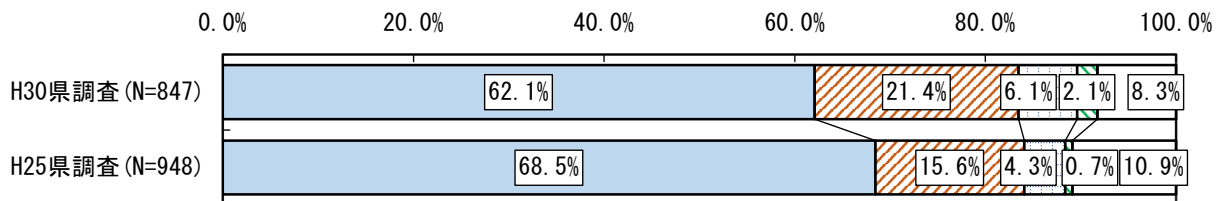


④通勤時間

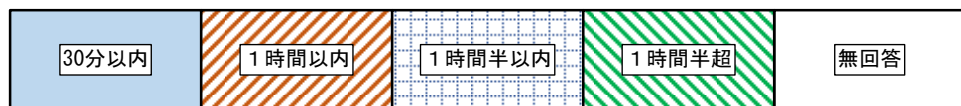
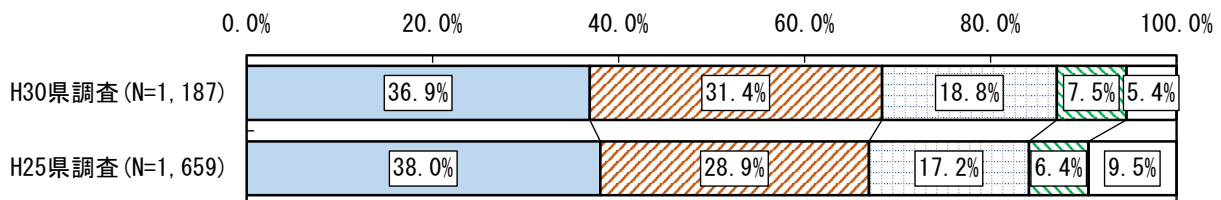
通勤時間（片道）をみると、妻では「30分以内」が62.1%で最も多く、次いで「1時間以内」（21.4%）、「1時間半以内」（6.1%）となっている。前回調査に比べて、「30分以内」の割合が6.4ポイント低下し、一方で「1時間以内」の割合が5.8ポイント上昇している。

夫では「30分以内」が36.9%で最も多く、次いで「1時間以内」（31.4%）、「1時間半以内」（18.8%）となっている。前回調査に比べて、各通勤時間の割合に大きな変化はない。

図表 通勤時間（妻）



図表 通勤時間（夫）

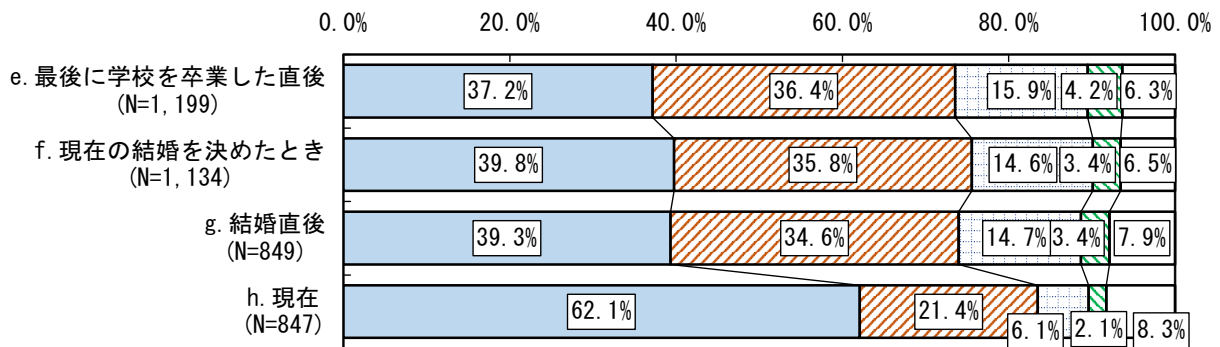


【時期別】

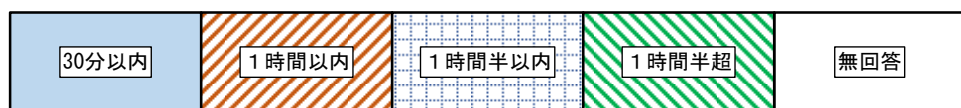
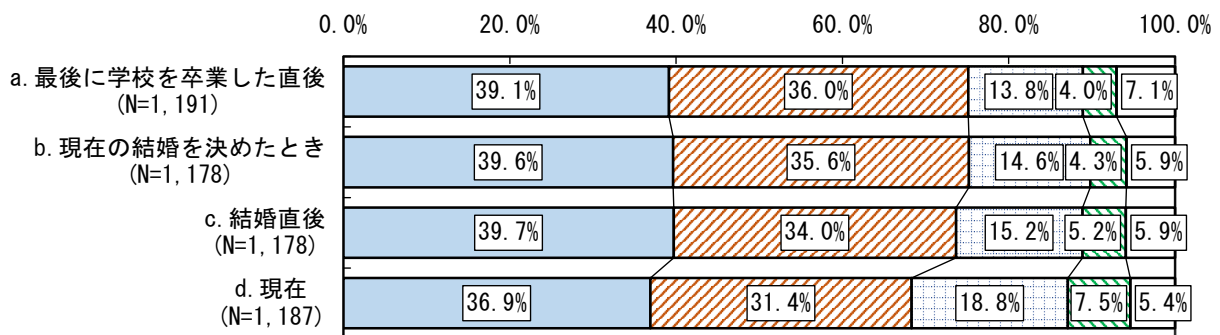
時期別に、通勤時間（片道）をみると、妻の場合、最後に学校を卒業した直後から現在までの間にかけて、「30分以内」の割合が24.9ポイント上昇し、一方で「1時間以内」「1時間半以内」「1時間半超」の割合が低下している。

夫の場合、最後に学校を卒業した直後から現在までの間にかけて、「1時間半以内」の割合が5.0ポイント上昇し、一方で「1時間以内」の割合がそれぞれ4.6ポイント低下している。

図表 時期別 通勤時間（妻）



図表 時期別 通勤時間（夫）



(2) 妻の妊娠・出産後の就労状況

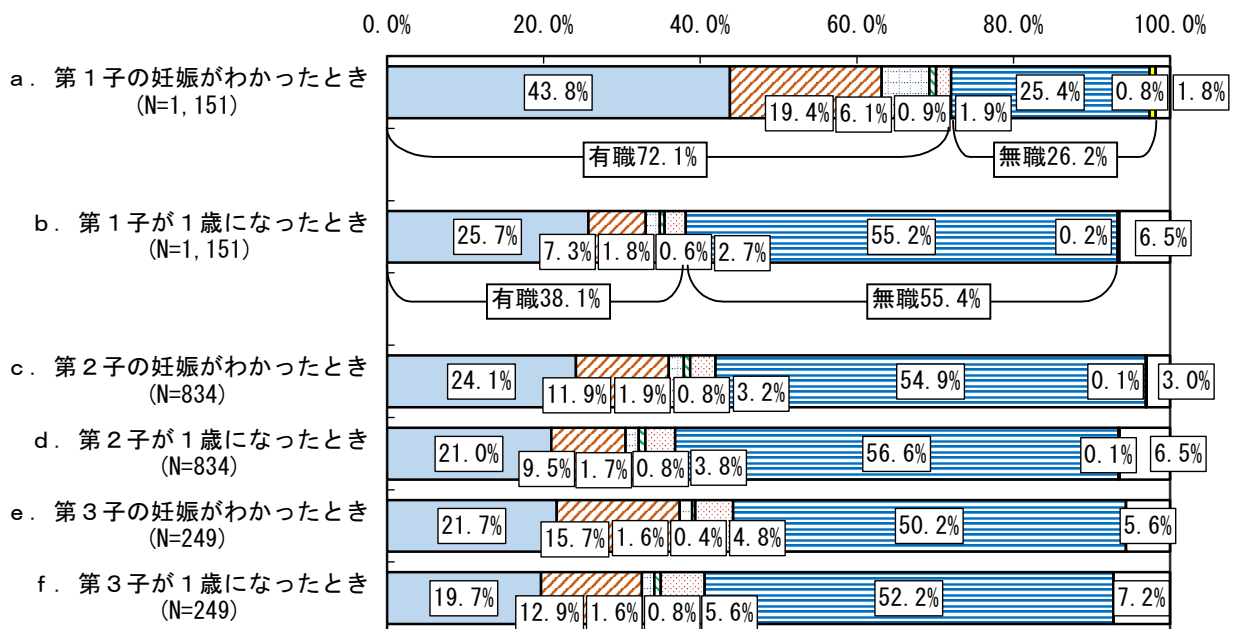
お子さんをお持ちの方にうかがいます。それ以外の方は問5へお進みください。

問 4-1 あなた方ご夫婦がお子さんをお持ちになったときの妻（妻は自分の状況、夫は妻の状況を回答）のお仕事についておたずねします。下の a~f の各時期における①おつとめの状況、②職種、③おつとめ先の従業員数、④片道の通勤時間について、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

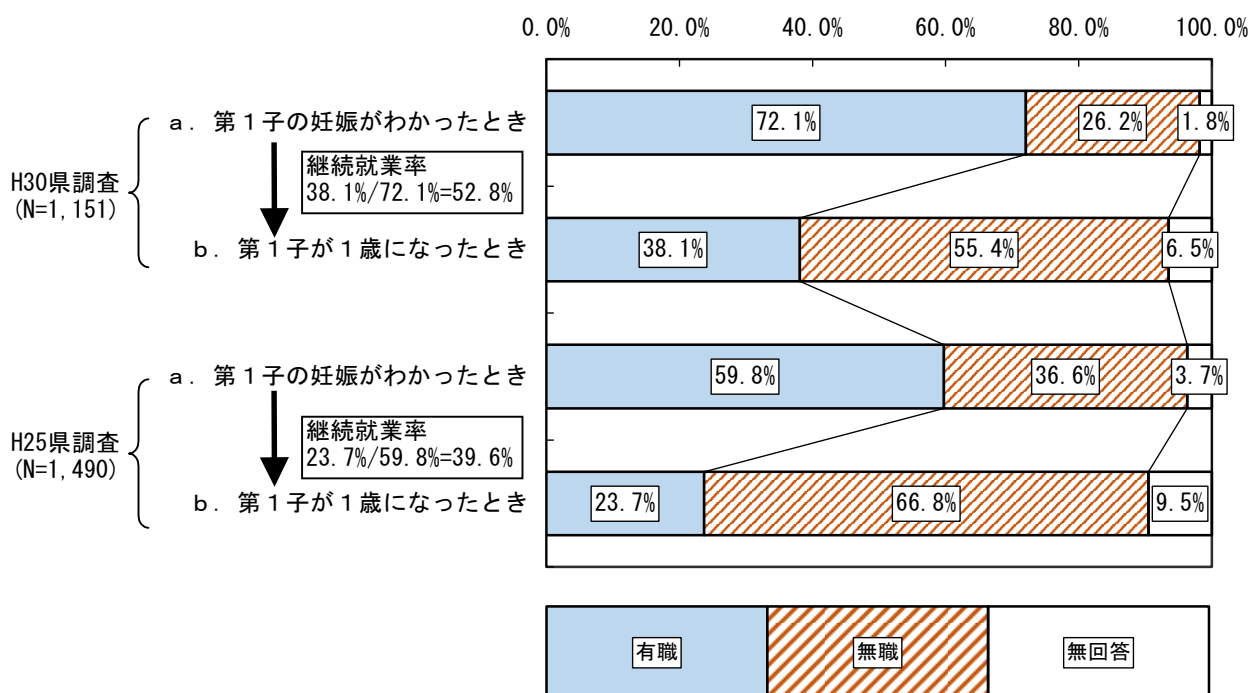
①妻の就労状況

第1子妊娠時に就労している妻の割合は72.1%で、そのうち「正規職員」の割合が43.8%、「パート・アルバイト」等の非正規雇用職員の割合が25.5%となっている。第1子が1歳になった時には、就労している妻の割合は38.1%までに低下し、「無職・家事」が25.4%が55.2%に増加している。第1子出産前後の継続就業率を前回調査と比較すると、39.6%から52.8%に伸びたことが分かる。（妻の第1子出産を機に退職した割合は、前回調査の約6割から約5割に減少した）。

図表 妻の妊娠・出産後の就労状況



図表 第1子出産前後の妻の就労状況



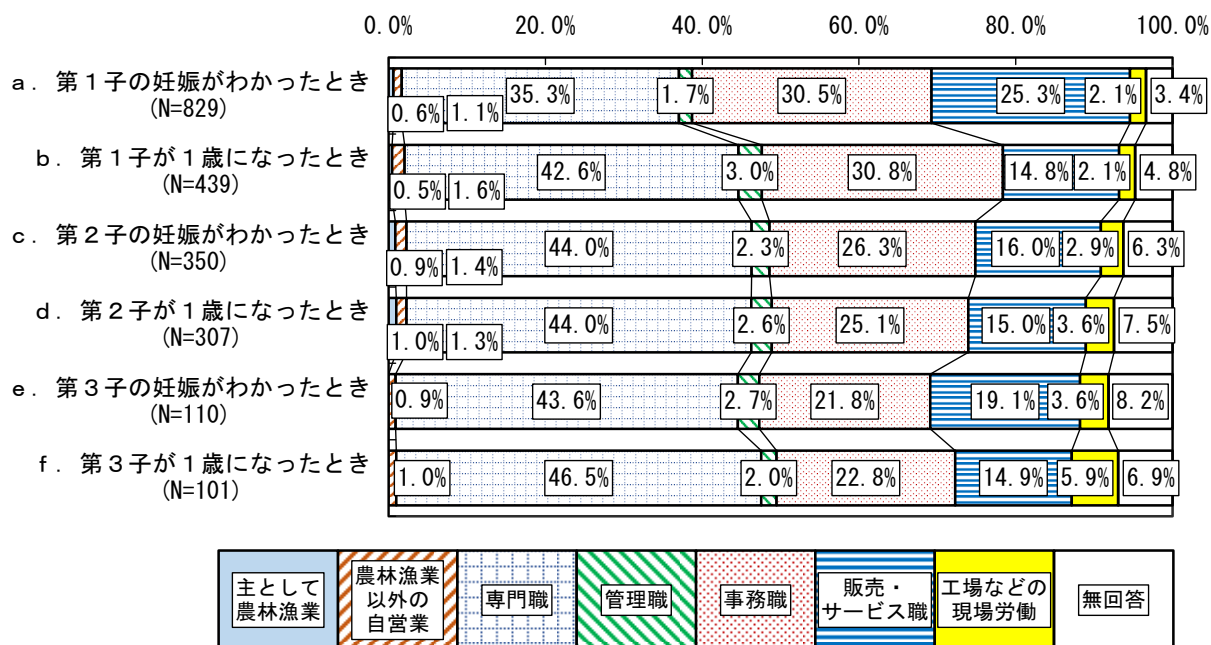
図表 妻の妊娠・出産後の就労状況（前回）

時期	母数	正規職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主	家族従業者・内職	無職・家事	学生	無回答
a. 第1子の妊娠がわかったとき	1,645	31.7%	17.9%	6.0%	1.2%	3.2%	35.0%	0.9%	4.1%
b. 第1子が1歳になったとき	1,645	12.5%	6.1%	0.7%	1.2%	3.3%	65.8%	0.1%	10.3%
c. 第2子の妊娠がわかったとき	1,201	12.7%	8.9%	1.1%	1.3%	4.2%	66.8%	0.0%	5.1%
d. 第2子が1歳になったとき	1,201	10.0%	7.7%	0.5%	1.2%	4.8%	66.7%	0.0%	9.1%
e. 第3子の妊娠がわかったとき	382	10.2%	11.0%	1.0%	1.8%	7.3%	63.9%	0.0%	4.7%
f. 第3子が1歳になったとき	382	8.6%	9.4%	1.0%	1.8%	8.9%	62.0%	0.0%	8.1%

②妻の妊娠・出産後の職種

妻の妊娠・出産後の職種については、「専門職」の割合は、第1子・第3子において、妊娠がわかったときより1歳になったときのほうが同じか高くなっている。一方、「販売・サービス職」の割合は、第1子・第2子・第3子ともに、妊娠がわかったときより1歳になったときのほうが低くなっている。

図表 妻の妊娠・出産後の職種



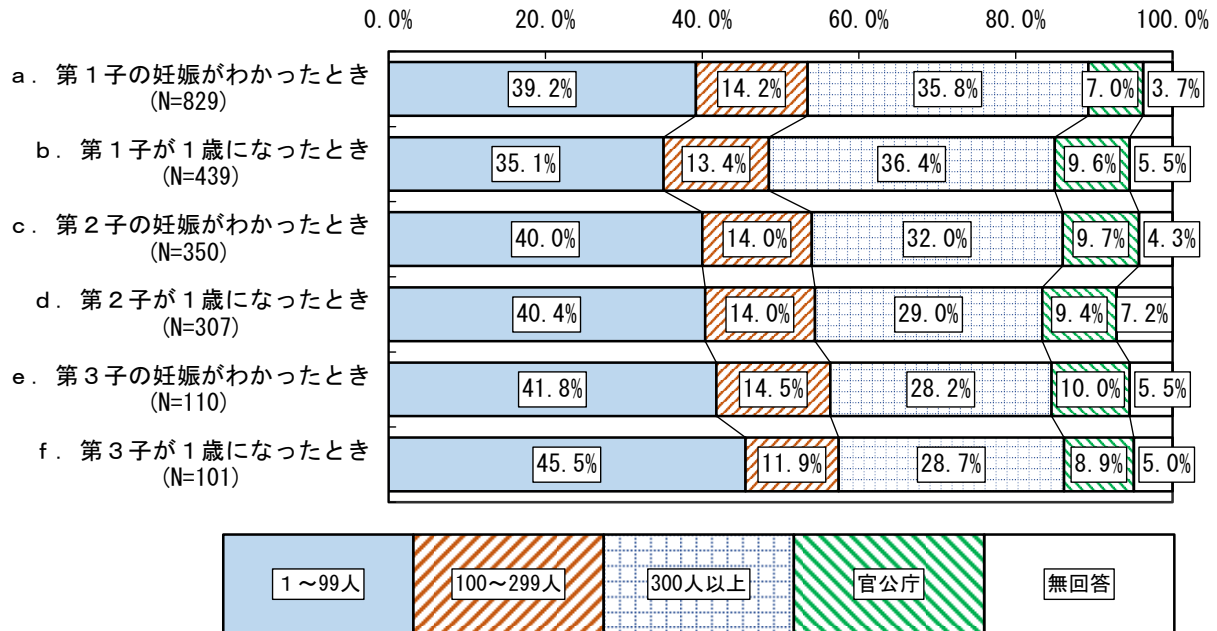
図表 妻の妊娠・出産後の職種（前回）

時期	母数	主として農林漁業	営農林漁業以外の自	専門職	管理職	事務職	販売・サービス職	働工場などの現場労働	無回答
a. 第1子の妊娠がわかったとき	986	0.1%	1.2%	29.2%	0.5%	33.1%	25.6%	5.3%	5.1%
b. 第1子が1歳になったとき	392	0.3%	3.1%	36.5%	1.3%	27.8%	20.7%	3.8%	6.6%
c. 第2子の妊娠がわかったとき	338	0.3%	3.3%	35.2%	1.2%	24.9%	22.8%	4.1%	8.3%
d. 第2子が1歳になったとき	291	0.3%	4.1%	35.7%	1.4%	23.4%	21.0%	4.1%	10.0%
e. 第3子の妊娠がわかったとき	120	0.0%	6.7%	38.3%	0.8%	12.5%	29.2%	5.0%	7.5%
f. 第3子が1歳になったとき	114	0.0%	7.9%	35.1%	0.9%	14.9%	28.1%	3.5%	9.6%

③妻の妊娠・出産後の勤め先の従業員数

妻の妊娠・出産後の勤め先の従業員数については、「1～99人」の割合は、第1子では、妊娠がわかったときより1歳になったときのほうが4.1ポイント低く、第3子では、妊娠がわかったときより1歳になったときのほうが3.7ポイント高くなっている。「300人以上」の割合は、第2子では、妊娠がわかったときより1歳になったときのほうが3.0ポイント低くなっている。

図表 妻の妊娠・出産後の従業員数



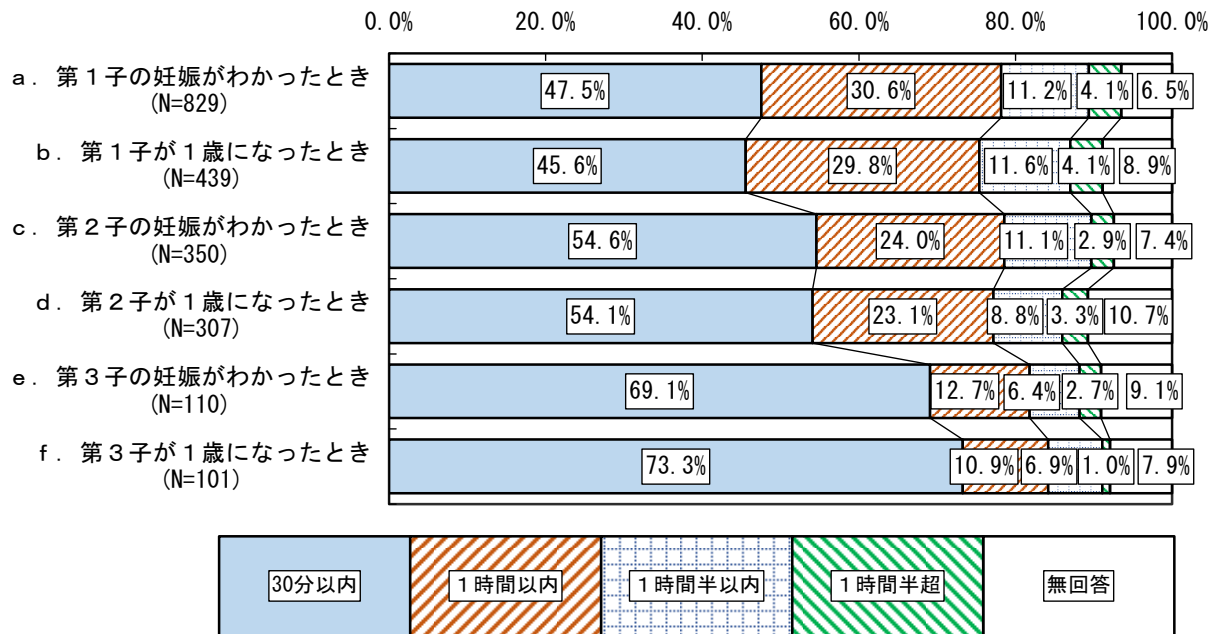
図表 妻の妊娠・出産後の従業員数（前回）

時期	母数	1 5 9 9 人	1 0 0 5 2 9 9 人	3 0 0 人 以 上	官 公 庁	無 回 答
a. 第1子の妊娠がわかったとき	986	43.7%	13.7%	29.4%	6.3%	6.9%
b. 第1子が1歳になったとき	392	41.3%	11.0%	27.6%	10.7%	9.4%
c. 第2子の妊娠がわかったとき	338	47.6%	12.7%	22.2%	9.2%	8.3%
d. 第2子が1歳になったとき	291	49.8%	11.7%	18.6%	10.0%	10.0%
e. 第3子の妊娠がわかったとき	120	62.5%	10.0%	14.2%	7.5%	5.8%
f. 第3子が1歳になったとき	114	60.5%	13.2%	12.3%	7.9%	6.1%

④妻の妊娠・出産後の通勤時間

妻の妊娠・出産後の通勤時間については、子どもの数が増えていくと通勤時間が短くなる傾向があり、第3子になると「30分以内」の割合が約7割となる。出生順位別に妊娠・出産後の通勤時間を比較すると、両者の間に大きな差はない。

図表 妻の妊娠・出産後の通勤時間



図表 妻の妊娠・出産後の通勤時間（前回）

時期	母数	30分以内	1時間以内	1時間半以内	1時間半超	無回答
a. 第1子の妊娠がわかったとき	986	51.0%	26.9%	10.3%	1.8%	9.9%
b. 第1子が1歳になったとき	392	56.1%	20.9%	9.4%	2.0%	11.5%
c. 第2子の妊娠がわかったとき	338	63.3%	17.8%	6.5%	0.3%	12.1%
d. 第2子が1歳になったとき	291	63.9%	16.8%	5.5%	0.3%	13.4%
e. 第3子の妊娠がわかったとき	120	69.2%	18.3%	2.5%	0.0%	10.0%
f. 第3子が1歳になったとき	114	72.8%	14.0%	1.8%	0.9%	10.5%

(3) 現在の夫婦の就労状況

現在夫婦どちらか、または両方がお仕事をお持ちの方にかかっています（夫婦双方のことを回答ください）。それ以外の方は問6へお進みください。

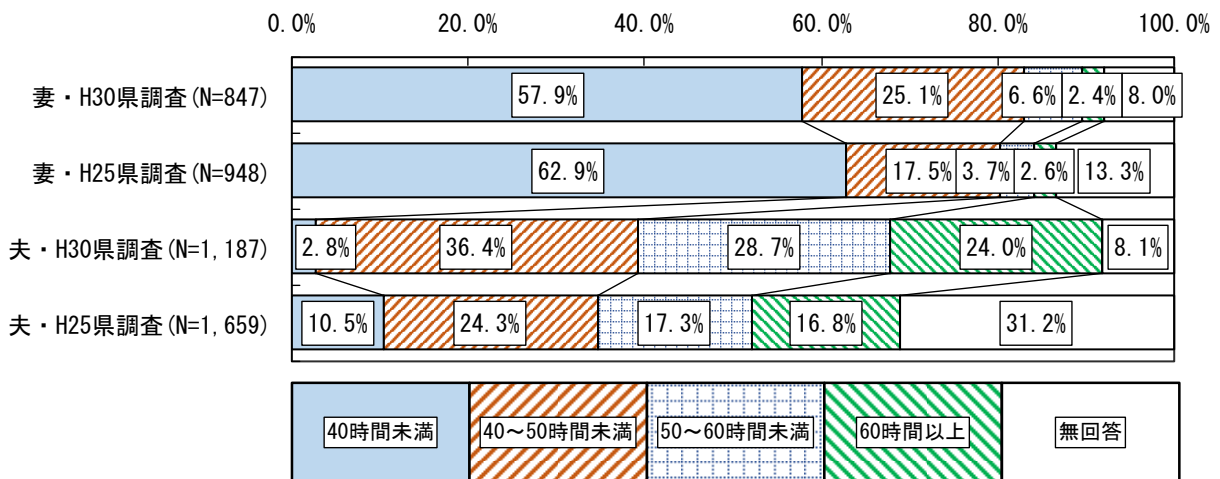
問5 あなた方ご夫婦の現在のお仕事について、次の①～⑨までの項目に、該当する数字を記入し、あてはまる番号に○をつけてください。

① 1週間の平均的な労働時間

1週間の平均的な労働時間をみると、妻では「40時間未満」が57.9%で最も多く、次いで「40～50時間未満」(25.1%)となっている。前回調査に比べて、「40～50時間未満」の割合が7.6ポイント上昇し、「40時間未満」の割合が5.0ポイント低下している。

夫では「40～50時間未満」が36.4%で最も多く、次いで「50～60時間未満」(28.7%)で、40時間以上が89.1%となっている。前回調査に比べて、「40時間未満」の割合が7.7ポイント低下し、「40～50時間未満」「50～60時間未満」「60時間以上」の割合がそれぞれ約7～12ポイント上昇している。※前回調査は無回答が多いことに留意する必要がある。

図表 1週間の平均的な労働時間

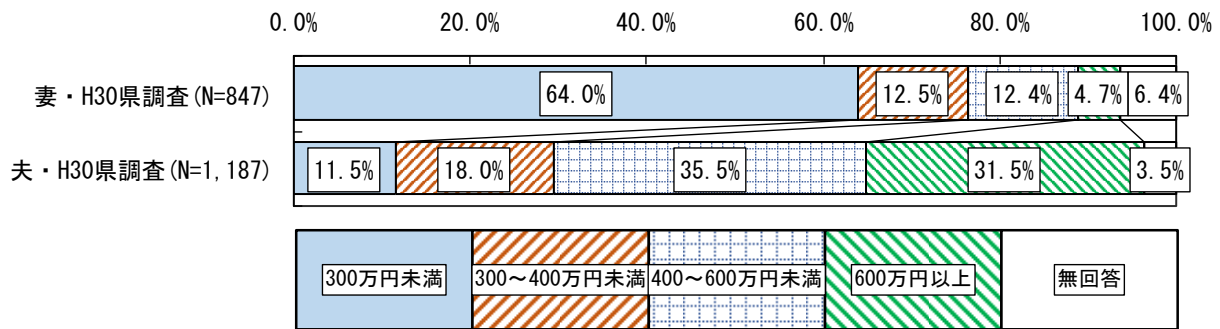


②年間の収入

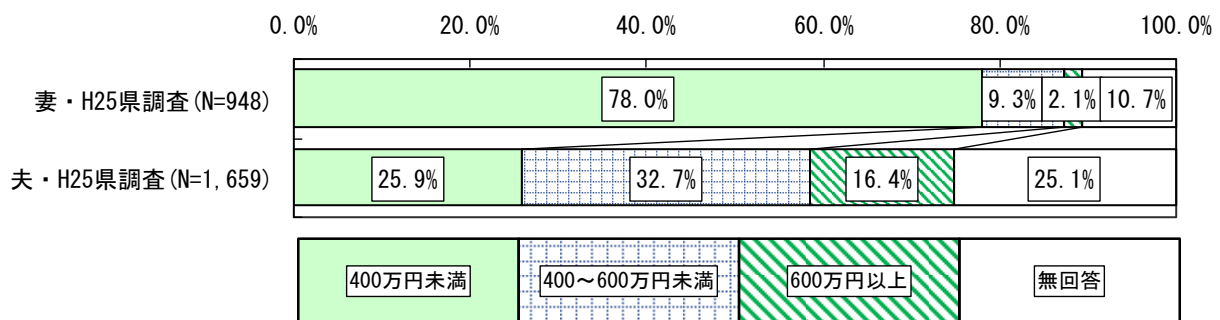
年間の収入をみると、妻では「300万円未満」が64.0%で最も多く、次いで「300～400万円未満」(12.5%)となっている。前回調査に比べて、「400～600万円未満」の割合が3.1ポイント上昇している。

夫では「400～600万円未満」が35.5%で最も多く、次いで「600万円以上」(31.5%)となっている。前回調査に比べて、「600万円以上」の割合が15.1ポイント、400万円未満の割合が3.6ポイント上昇している。※前回調査は無回答が多いことに留意する必要がある。

図表 年間の収入



図表 年間の収入（前回）

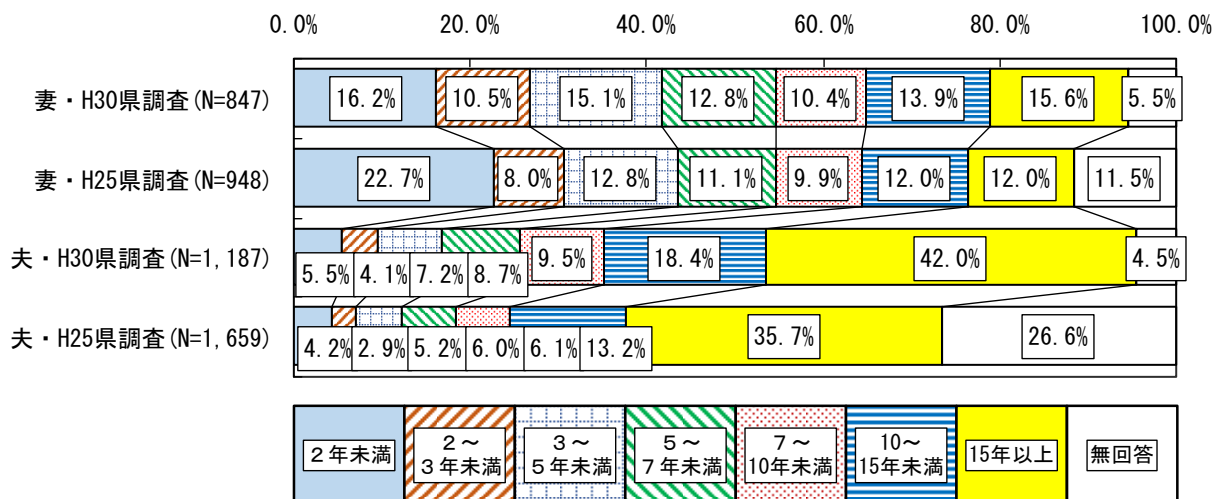


③現在の仕事の継続年数

現在の仕事の継続年数をみると、妻では「2年未満」が16.2%で最も多く、次いで「15年以上」(15.6%)、「3～5年未満」(15.1%)となっている。

夫では「15年以上」が42.0%で最も多く、次いで「10～15年未満」(18.4%)、「7～10年未満」(9.5%)となっている。

図表 仕事の継続年数



④今後の就労継続の見通し

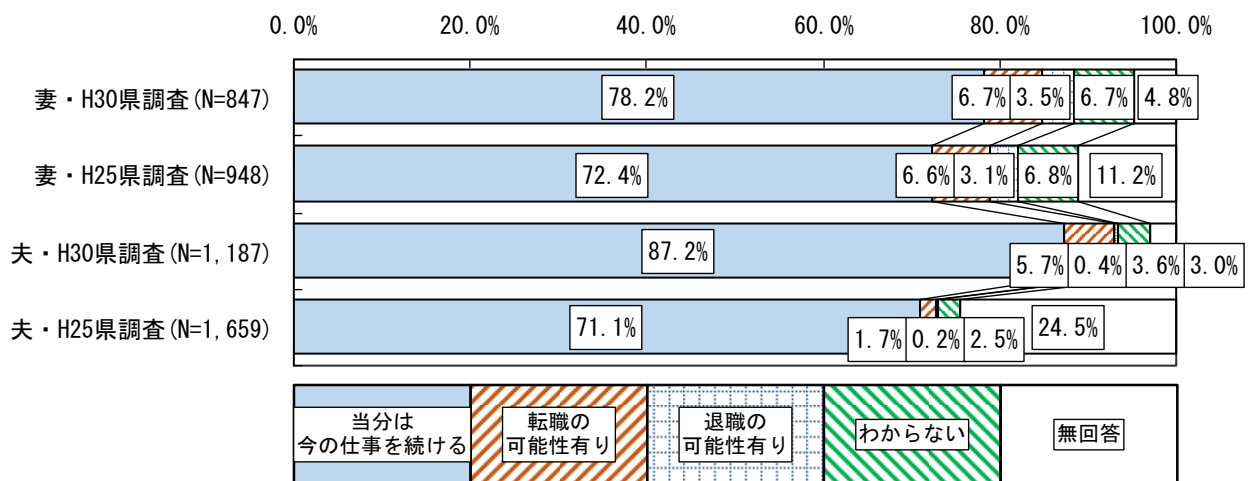
今後の就労継続の見通しをみると、妻では「当分は今の仕事を続ける」が78.2%で最も多くなっており、転職や退職の可能性は10.2%と就労継続に比べて少ない。前回調査に比べて、「当分は今の仕事を続ける」の割合が5.8ポイント上昇している。

夫では「当分は今の仕事を続ける」が87.2%で最も多くなっており、転職や退職の可能性は6.1%と就労継続に比べて少ない。前回調査に比べて、「当分は今の仕事を続ける」の割合が16.1ポイント上昇している。※前回調査は無回答が多いことに留意する必要がある。

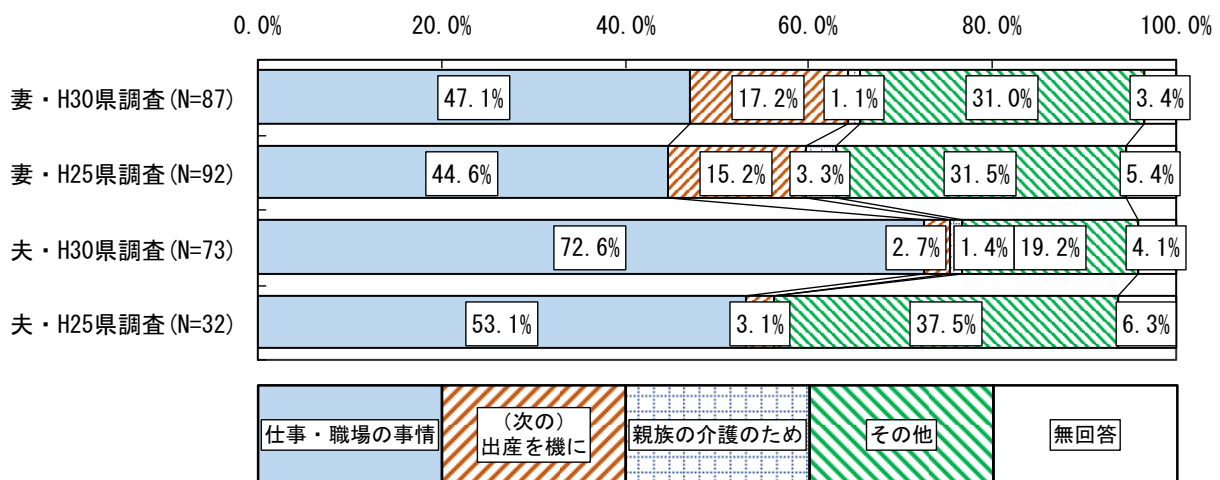
また、予想される転職や退職の理由をみると、妻では、「その他」を除いて、「仕事・職場の事情」が47.1%で最も多く、次いで「(次の) 出産を機に」(17.2%)となっている。前回調査に比べて、各転職や退職の理由の割合に大きな変化はない。

夫では、「その他」を除いて、「仕事・職場の事情」が72.6%で最も多く、次いで「(次の) 出産を機に」(2.7%)となっている。前回調査に比べて、「仕事・職場の事情」の割合が19.5ポイント上昇している。

図表 今後の就労継続の見通し



図表 転職・退職の理由

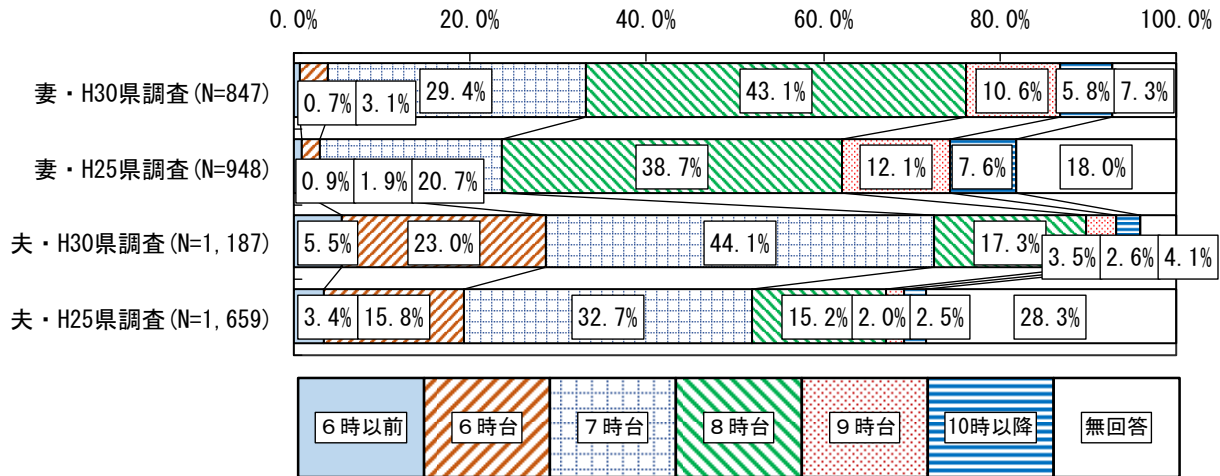


⑤平均的な出勤時刻

平均的な出勤時刻をみると、妻では「8時台」が43.1%で最も多く、次いで「7時台」(29.4%)、「9時台」(10.6%)となっている。前回調査に比べて、「7時台」の割合が8.7ポイント上昇している。

夫では「7時台」が44.1%で最も多く、次いで「6時台」(23.0%)、「8時台」(17.3%)となっている。前回調査に比べて、「7時台」の割合が11.4ポイント、「6時台」の割合が7.2ポイント上昇している。※前回調査は無回答が多いことに留意する必要がある。

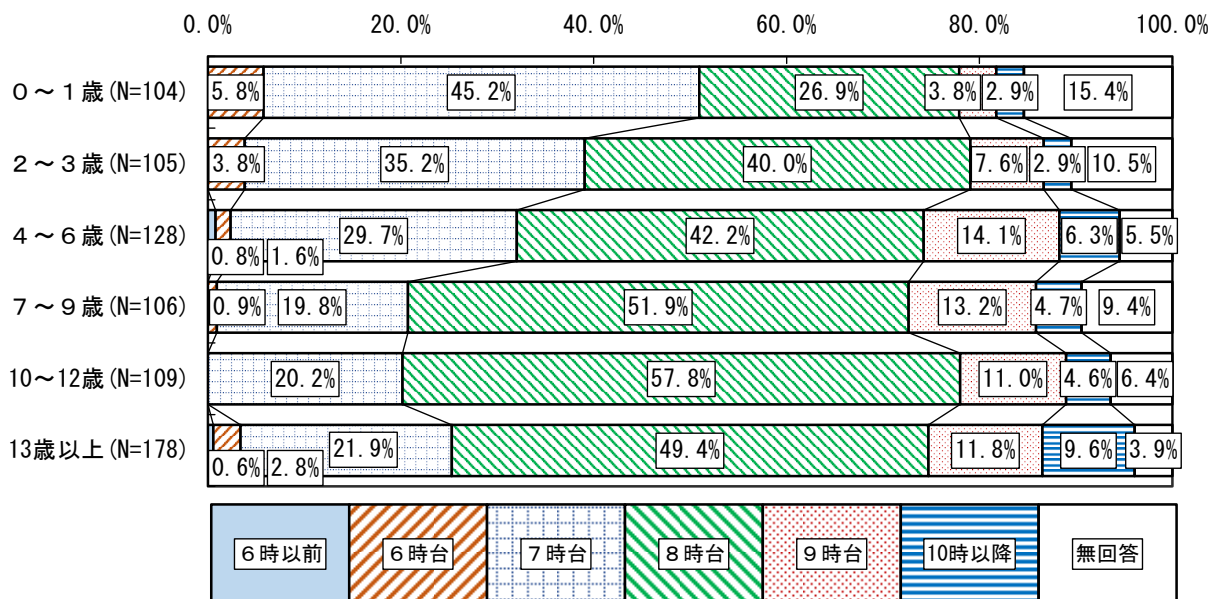
図表 平均的な出勤時刻



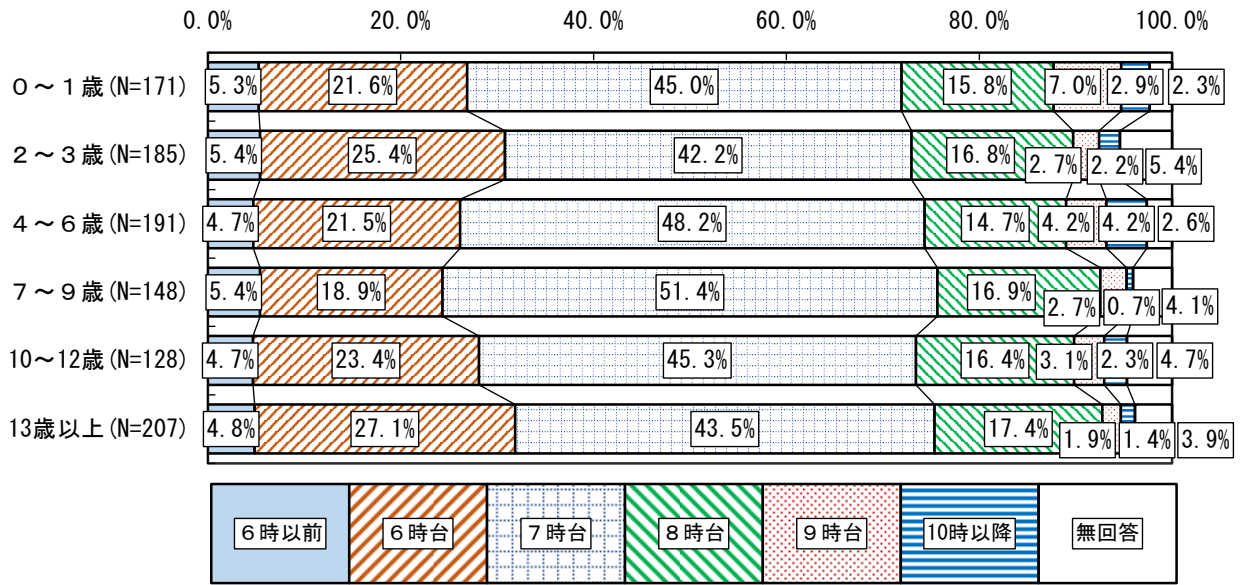
【末子年齢別】

末子の年齢別にみると、妻では「7時台」の割合は、0～1歳児を持つ母親で高く、年齢が上がるとともに、その割合は低下する傾向である。一方、2歳以上の子どもを持つ母親では、「8時台」の割合のほうが高くなっている。一方、夫では子どもの年齢に関係なく、「7時台」の割合が4割以上で高くなっている。

図表 末子年齢別 平均的な出勤時刻（妻）



図表 末子年齢別 平均的な出勤時刻（夫）

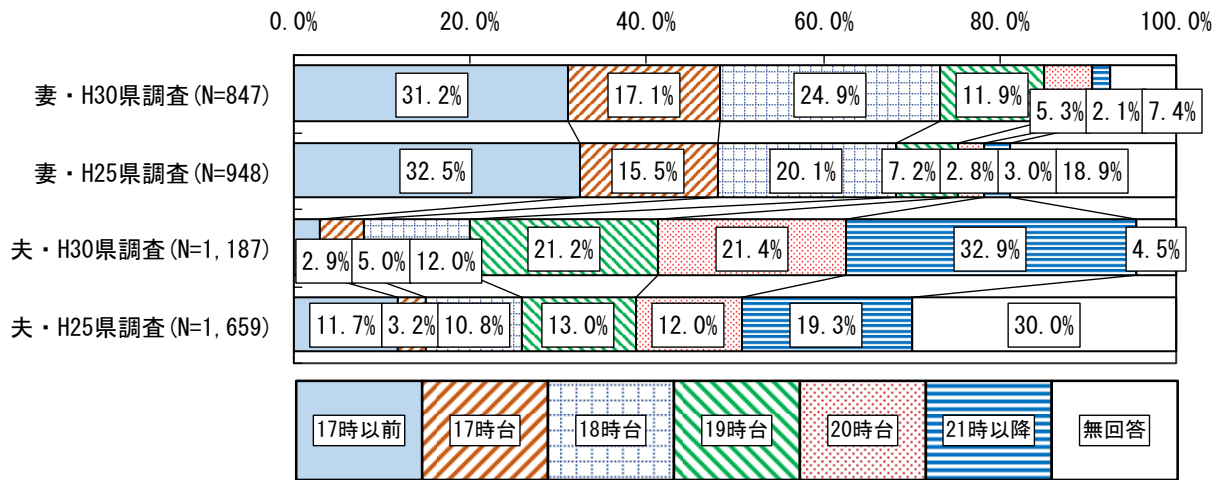


⑥平均的な帰宅時刻

平均的な帰宅時刻をみると、妻では「17 時以前」が 31.2%で最も多く、次いで「18 時台」(24.9%)、「17 時台」(17.1%) となっている。前回調査に比べて、「18 時台」の割合が 4.8 ポイント、「19 時台」の割合が 4.7 ポイント上昇している。

夫では「21 時以降」が 32.9%で最も多く、次いで「20 時台」(21.4%)、「19 時台」(21.2%) となっている。前回調査に比べて、「17 時以前」の割合が 8.8 ポイント低下し、「19 時台」「20 時台」「21 時以降」の割合がそれぞれ約 8～14 ポイント上昇している。※前回調査は無回答が多いことに留意する必要がある。

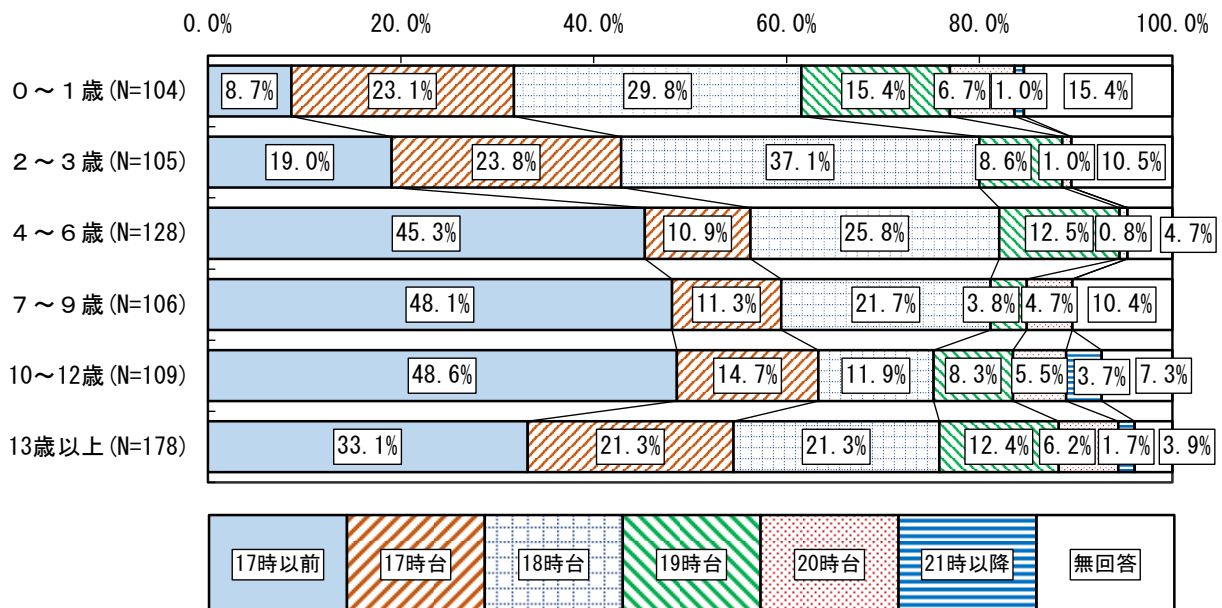
図表 平均的な帰宅時刻



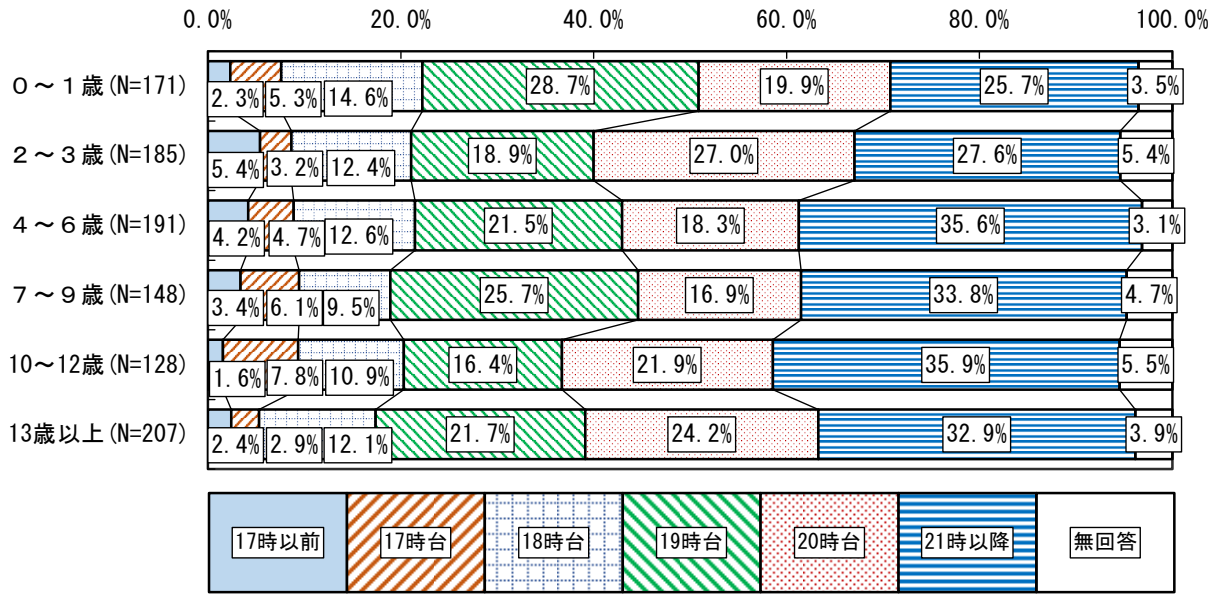
【末子年齢別】

末子の年齢別で、平均的な帰宅時刻をみると、4～12 歳児を持つ母親で「17 時以前」の割合が 4 割台を占めている。3 歳児までの母親では、「17 時台」及び「18 時台」の各割合が高くなっている。夫では 4 歳以上では「21 時以降」が 3 割以上となっている一方、1 歳未満では「19 時台」が最も多くなっている。

図表 末子年齢別 平均的な帰宅時刻 (妻)



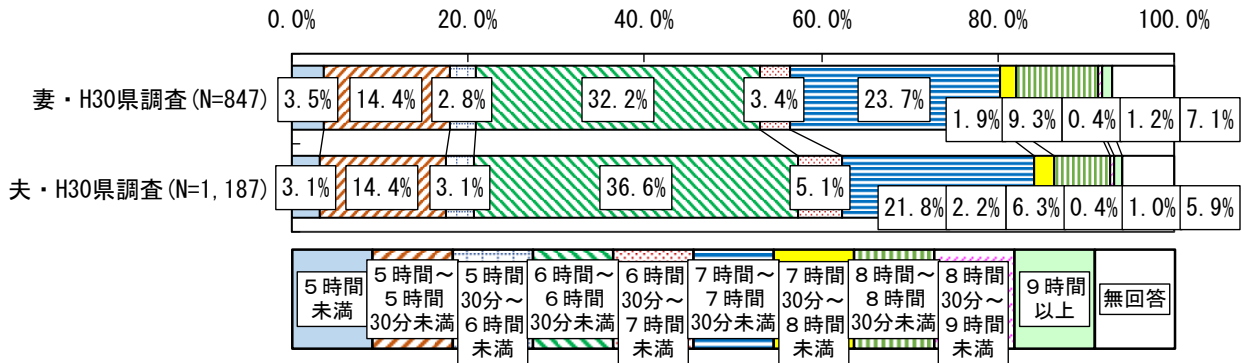
図表 末子年齢別 平均的な帰宅時刻（夫）



⑦勤務日の睡眠時間

勤務日の睡眠時間をみると、妻では「6時間～6時間30分未満」が32.2%で最も多く、次いで「7時間～7時間30分未満」(23.7%)、「5時間～5時間30分未満」(14.4%)となっている。
 夫では「6時間～6時間30分未満」が36.6%で最も多く、次いで「7時間～7時間30分未満」(21.8%)、「5時間～5時間30分未満」(14.4%)となっている。

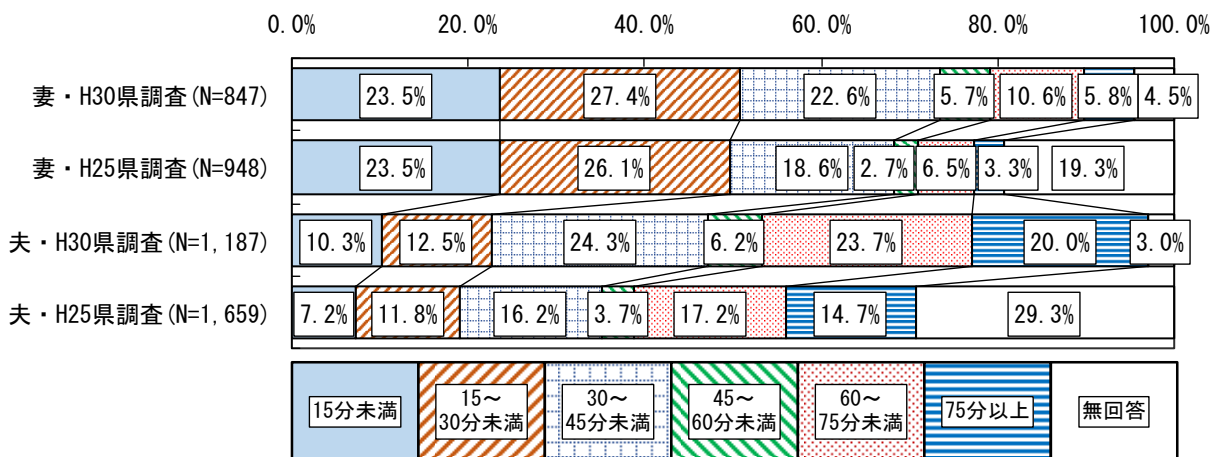
図表 勤務日の睡眠時間



⑧通勤時間(片道)

通勤時間(片道)をみると、妻では「15～30分未満」が27.4%で最も多く、次いで「15分未満」(23.5%)、「30～45分未満」(22.6%)となっている。前回調査に比べて、「60～75分未満」の割合が4.1ポイント、「30～45分未満」の割合が4.0ポイント上昇している。
 夫では「30～45分未満」が24.3%で最も多く、次いで「60～75分未満」(23.7%)、「75分以上」(20.0%)となっている。前回調査に比べて、「30～45分未満」「60～75分未満」「75分以上」の割合がそれぞれ5ポイント以上上昇している。※前回調査は無回答が多いことに留意する必要がある。

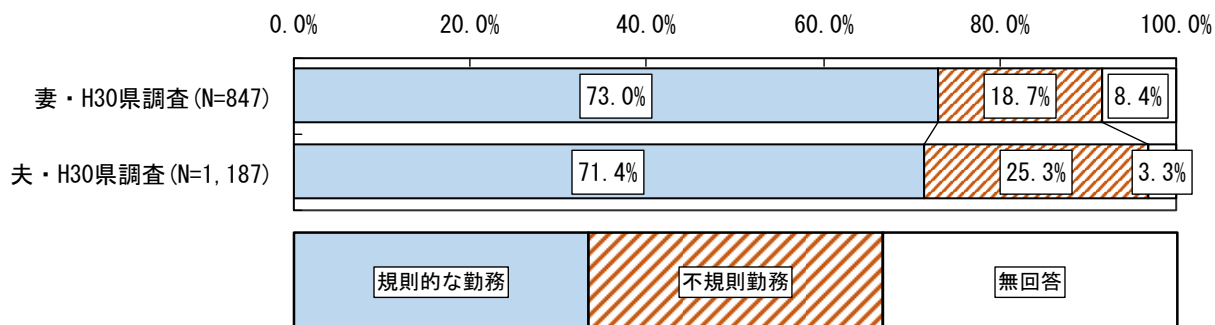
図表 通勤時間



⑨不規則勤務であるか

不規則勤務（夜勤またはシフト制勤務）であるかをみると、妻では「不規則勤務」が 18.7%、夫では「不規則勤務」が 25.3%となっている。

図表 不規則勤務であるか



(4) 未就労の妻の今後の就労希望

①未就労の妻の就労希望

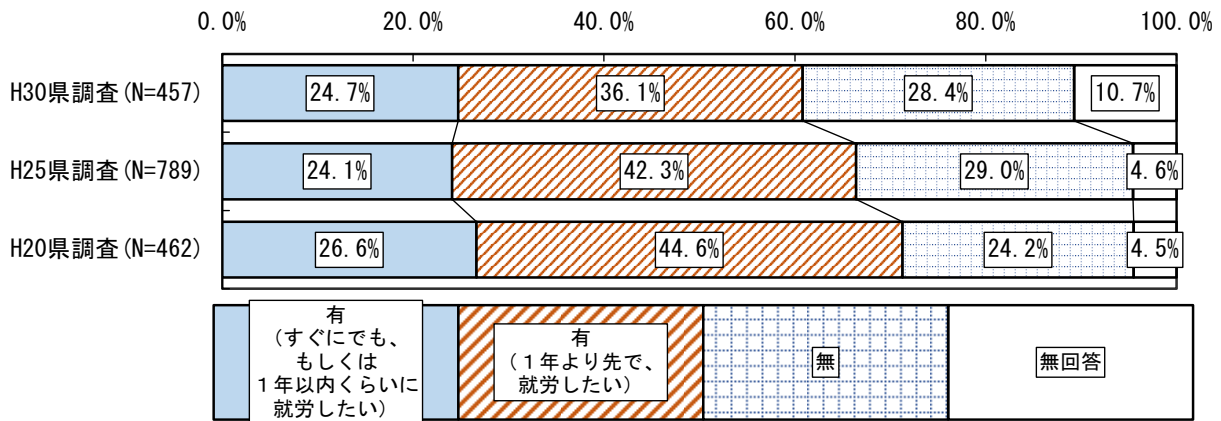
妻が現在お仕事をもちでないご夫婦についてうかがいます（妻は自分の状況、夫は妻の状況を分かる範囲で回答）。それ以外の方は問7へお進みください。

問6 あなた（あなたの妻）は、今後就労を希望されていますか。（○は1つ）

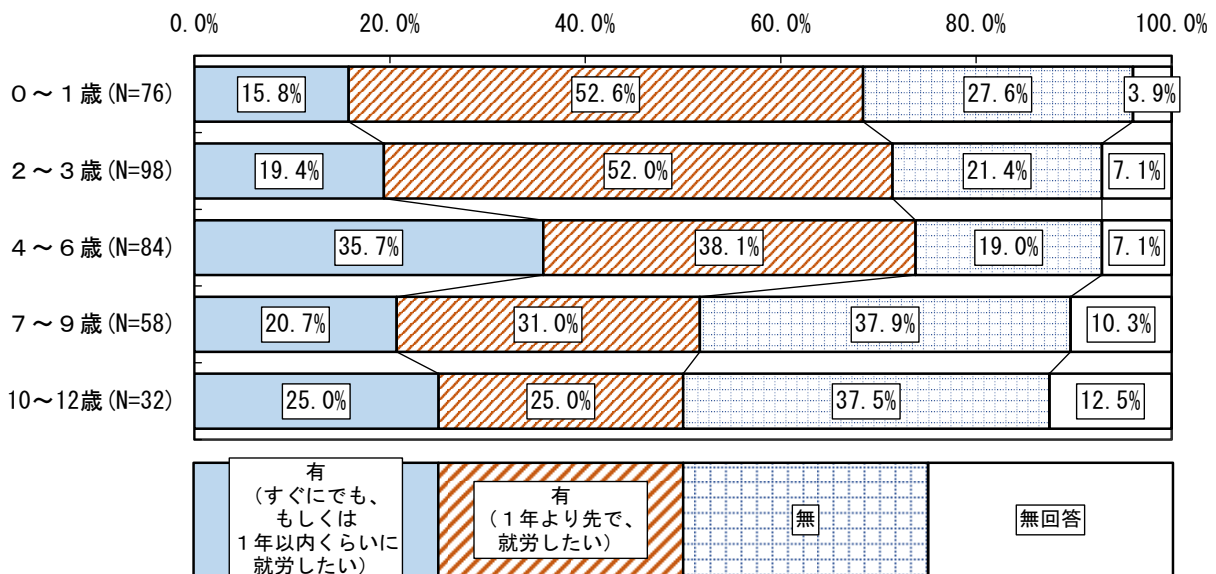
未就労の妻の就労希望をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内くらいに就労したい」の割合は24.7%、「1年より先で、就労したい」の割合は36.1%、「希望なし」が28.4%となっている。就労希望の「有」の合計の割合は、前回調査に比べると、前回66.4%から60.8%と減少している。

末子の年齢別に就労希望をみると、末子年齢が0～6歳の母親では、就労希望「有」が7割前後となっており、特に4～6歳では、35.7%がすぐに就労したい希望がある。しかし、7歳以降では、就労希望が約5割に低下している。

図表 未就労の妻の就労希望



図表 末子の年齢別 未就労の妻の就労希望



※子どもがいて、妻が現在就労していない夫婦

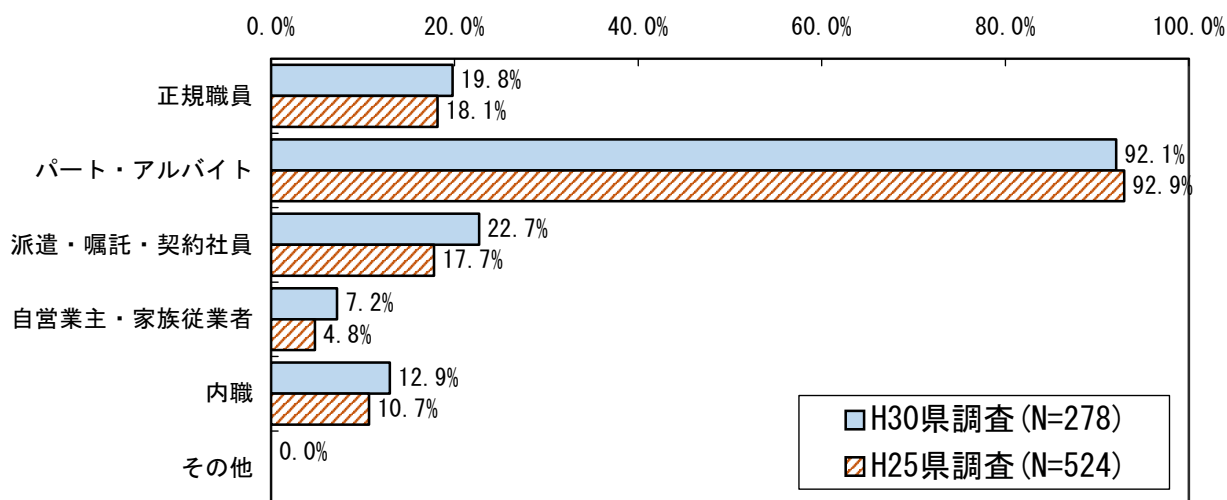
②希望就労形態

問6-1～問6-2は問6で「1」または「2」と回答した方にうかがいます。「3」を回答された方は問6-3へお進みください。妻は自分の考えを、夫は妻がどのように考えているか分かる範囲でお答え下さい。

問6-1 どのような雇用形態なら就労したいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

就労希望のある未就労の妻の希望就労形態をみると、「パート・アルバイト」が92.1%で最も多く、次いで「派遣・嘱託・契約社員」(22.7%)、「正規職員」(19.8%)となっている。前回調査に比べて、おおむね同傾向である。

図表 希望就労形態（複数回答）



※妻が現在就労していない夫婦

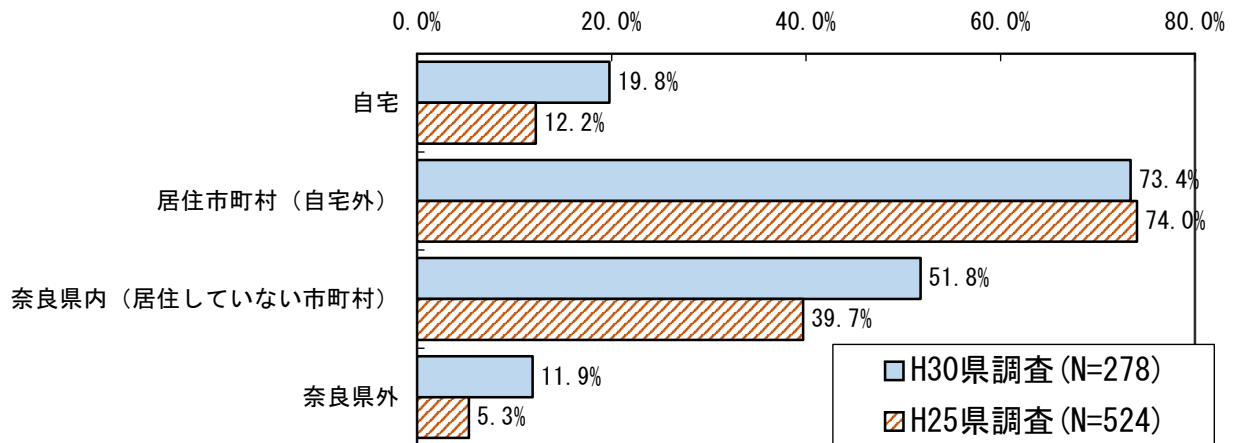
※無回答を除く

③希望勤務地

問 6-2 希望される勤務地はどちらですか。(〇はあてはまるものすべて)

就労希望のある未就労の妻の希望勤務地をみると、「居住市町村」が 73.4%で最も多く、次いで「奈良県内」(51.8%)、「自宅」(19.8%) となっている。前回調査に比べて、「奈良県内」の割合が 12.1 ポイント、「自宅」の割合が 7.6 ポイント、「奈良県外」の割合が 6.6 ポイント上昇している。

図表 希望勤務地（複数回答）



※妻が現在就労せず、今後就労希望がある夫婦

※無回答を除く

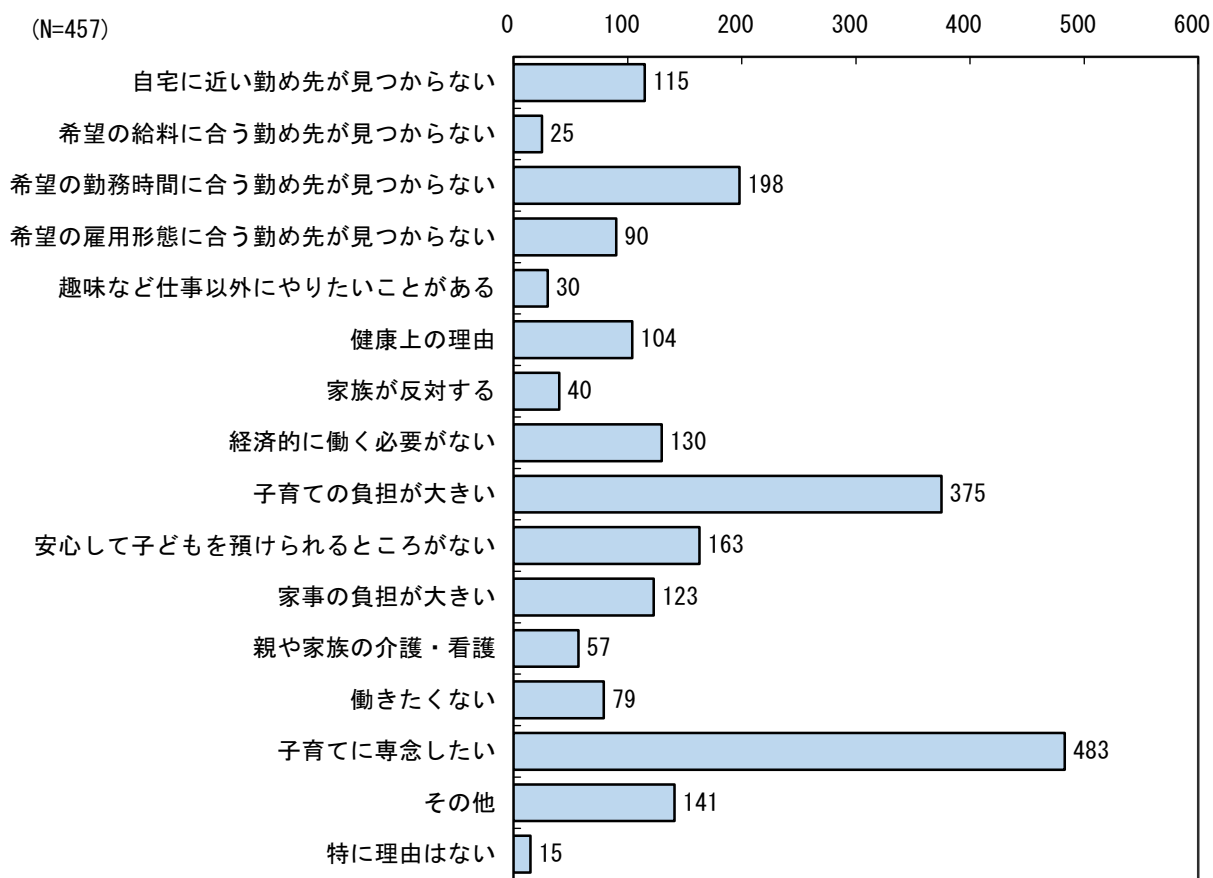
④就労していない・希望しない理由

問6-3～問6-4は問6で回答したすべての方にかがいます。

問 6-3 現在就労していない理由または今後就労を希望しない理由は何ですか。次の中から**最大の理由**、**第二の理由**、**第三の理由**をそれぞれ1つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

未就労の妻の就労していない・希望しない理由をみると、「子育てに専念したい」が483点で最も多く、次いで「子育ての負担が大きい」(375点)、「希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない」(198点)となっている。

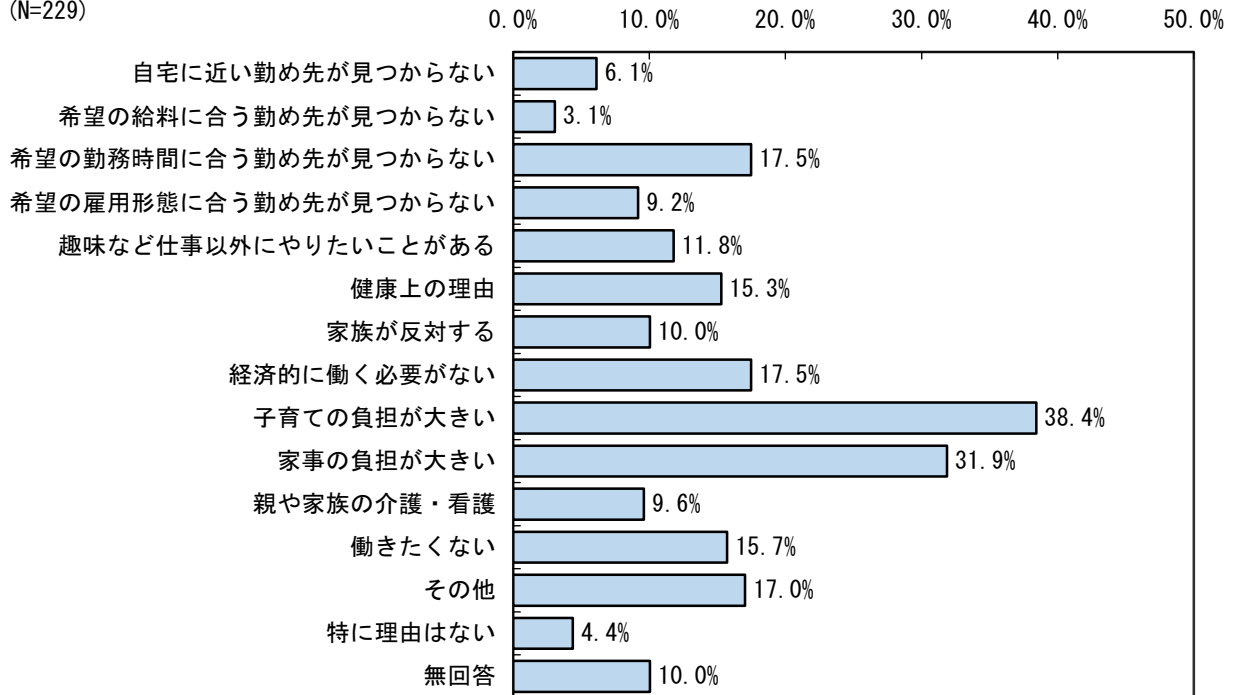
図表 就労していない・希望しない理由 (あてはまる理由を3つ選択)



※最大の理由=3点、第二の理由=2点、第三の理由=1点として点数換算

図表 (参考) 前回

(N=229)

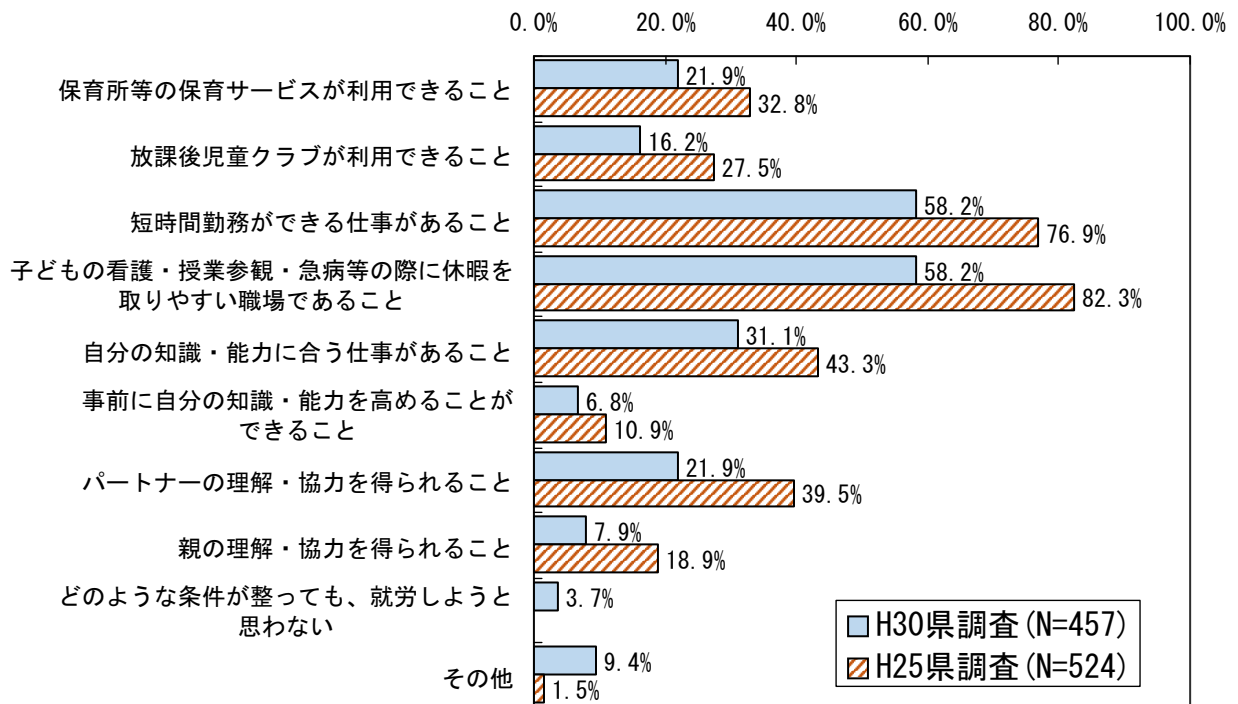


⑤就労の条件

問 6-4 今後どのような条件が整えば就労したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

未就労の妻の就労の条件をみると、「短時間勤務ができる仕事があること」「子どもの看護・授業参観・急病等の際に休暇を取りやすい職場であること」がともに 58.2%で最も多く、次いで「自分の知識・能力に合う仕事があること」(31.1%)となっている。(前回調査の集計では回答者を就労を希望する妻に限定しているため、就労を希望しない妻を含んでいる今回調査と比較して、各割合が低下している。)

図表 就労条件（複数回答）



(5) 就労経験者の退職時期と理由

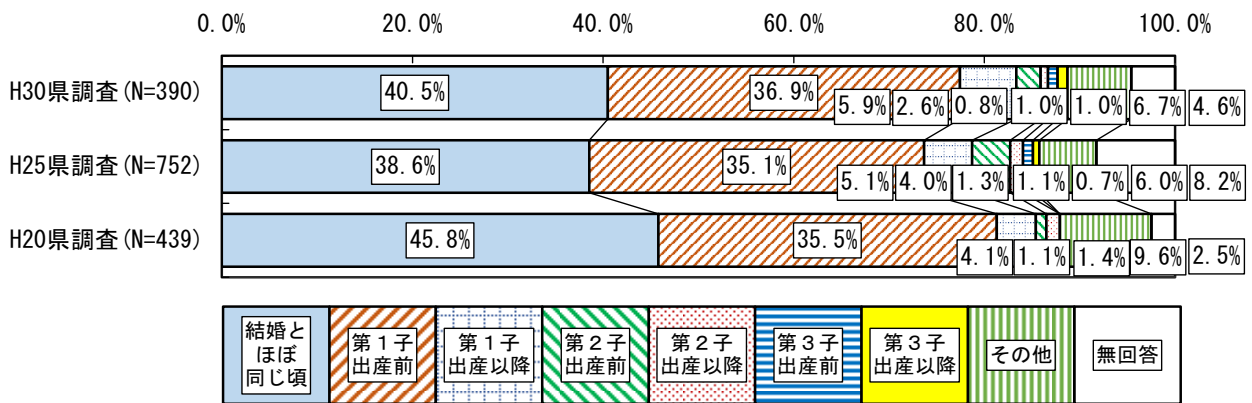
①仕事を辞めた時期

妻が以前お仕事をされていたが、現在はお仕事をお持ちでない夫婦について（妻は自分の状況、夫は妻の状況を回答）うかがいます。それ以外の方は問8へお進みください。（産休・育児休業は「仕事を辞めた」と捉えません）

問7 あなた（あなたの妻）がお仕事を辞めた時期はいつごろですか。（複数回辞めている場合、初めて辞めた時期に○をつけてください。）

妻が仕事を辞めた時期をみると、「結婚とほぼ同じ頃」が40.5%で最も多く、次いで「第1子出産前」が36.9%となっている。前回調査に比べて、各時期の割合に大きな変化はない。

図表 仕事を辞めた時期

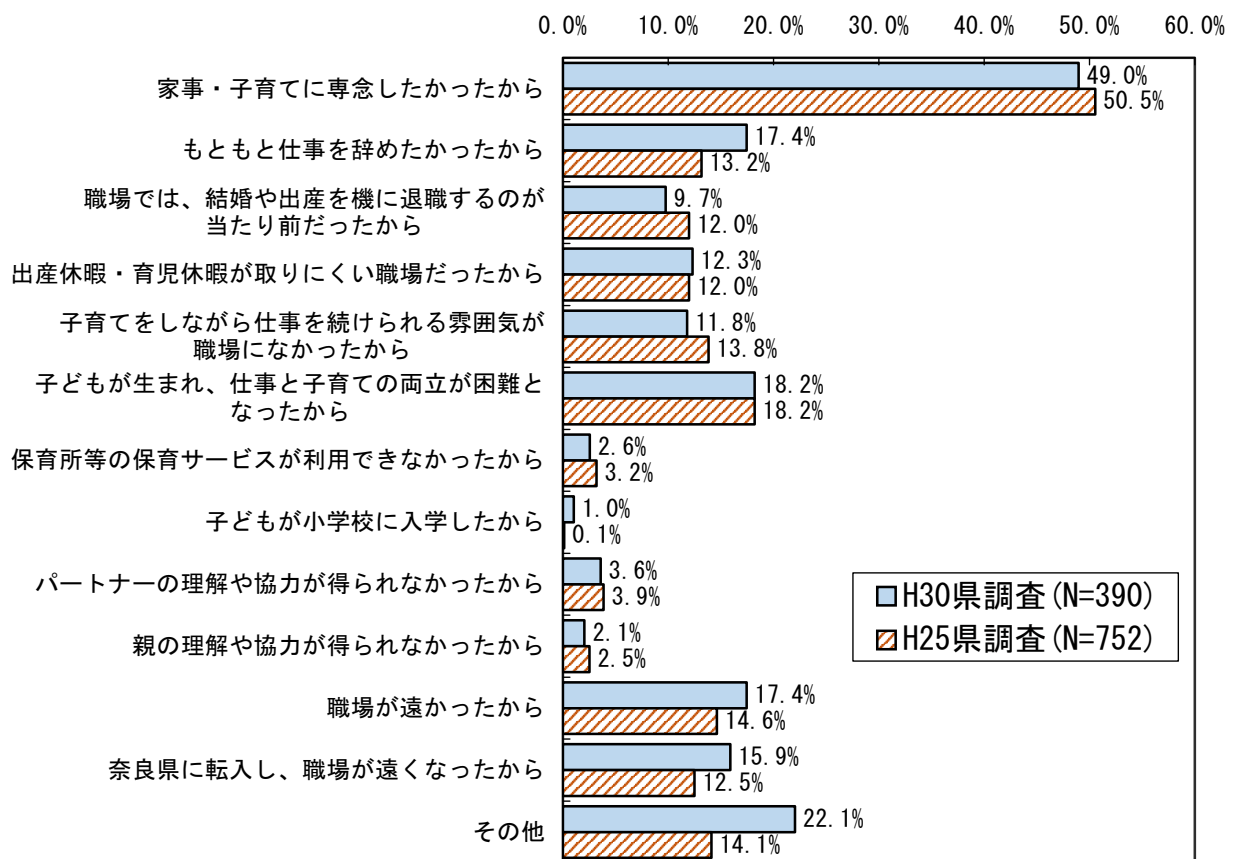


②仕事を辞めた理由

問 7-1 あなた（あなたの妻）がお仕事を辞めた理由は何でしたか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最大の理由には◎をつけてください。

妻が仕事を辞めた理由をみると、「その他」を除いて、「家事・子育てに専念したかったから」が49.0%で最も多く、次いで「子どもが生まれ、仕事と子育ての両立が困難となったから」（18.2%）、「もともと仕事を辞めたかったから」「職場が遠かったから」（ともに17.4%）となっている。前回調査に比べて、おおむね同傾向となっている。

図表 仕事を辞めた理由（複数回答）



図表 仕事を辞めた理由（最大）

	H30県調査 N=390	H25県調査 N=702
家事・子育てに専念したかったから	14.9%	21.5%
もともと仕事を辞めたかったから	3.3%	4.6%
職場では、結婚や出産を機に退職するのが当たり前だったから	1.0%	3.6%
出産休暇・育児休暇が取りにくい職場だったから	1.8%	1.9%
子育てをしながら仕事を続けられる雰囲気が職場になかったから	2.3%	3.3%
子どもが生まれ、仕事と子育ての両立が困難となったから	3.1%	3.4%
保育所等の保育サービスが利用できなかったから	0.3%	0.4%
子どもが小学校に入学したから	0.8%	0.1%
パートナー（夫）の理解や協力が得られなかったから	0.8%	0.4%
親の理解や協力が得られなかったから	0.3%	0.3%
職場が遠かったから	1.0%	2.3%
奈良県に転入し、職場が遠くなったから	2.3%	4.6%
その他	6.4%	3.8%
無回答	61.8%	49.9%